



秩父別町立秩父別中学校 学校だより

平成30年 3月23日発行 第37号

秩父別町2条2丁目 Tel. 0164-33-2650

発行責任者：校長 中島 淳

編集：教頭 佐々 謙彰

年度の終わりにあたって

校長 中島 淳

もう3月も下旬に入り、陽光は一段と明るさを増してきました。3月14日の卒業証書授与式では、16名の生徒が期待に胸を膨らませて巣立って行きました。また、16日には公立高校の合格発表が行われ、全員揃って合格することができました。4月から高校生活が始まりますが、自分の考えや目標をもって大きく羽ばたいてくれるものと思います。卒業にあたり、学校に寄せられました皆様のご厚情に心から感謝申し上げます。

そして、本日は1年生、2年生の在校生が各学年の全課程を修了しました。教職員一同、生徒たちのこの1年間の教育活動の成果を生かし、次の学年でのさらなる成長につなげていきたいと考えております。また、豊かな心と確かな学び、健全な心身を大切にするという校歌に込められた願いや伝統は、脈々と地域の中に根付いており、この地で、この学び舎で学ぶ心の支えとなっています。何かの縁あって本校に勤務する機会を得た私たち教職員も、この伝統の重さをしっかりと受け止め、生徒の教育に全力であたらなければならないと決意を新たにしているところです。

来年度は、平成33年度から完全実施される新学習指導要領へ向けての移行期間に入ります。その趣旨に沿った教育課程の編成に取りかかり、生徒たちが変化の激しい社会の中でもたくましく活躍していける力をしっかりと育てていきたいと思っております。終わりになりますが、保護者・地域の皆様をはじめ多くの方々温かいご支援とご協力で教育活動を実り多く終わられることに深く感謝申し上げます。年度末の挨拶とさせていただきます。

『転任のごあいさつ』

教頭 佐々 謙彰 妹背牛町立妹背牛中学校へ

平成27年10月からの2年半たいへんお世話になりました。初めての教頭職で不安でいっぱいでしたが、生徒・地域が素晴らしく、充実した毎日を送ることができました。思い出に残っていることは、たくさんあるのですが、今年度の体育大会を雨にも負けずに1日でやりきったことです。これを境に、中体連陸上のリレー3位入賞や野球、バレーボールの全道出場、学校祭等、学校に勢いをつけたと思います。

よい思い出ばかりの秩父別町を離れるのは寂しい限りですが、次の学校でも秩父別中で学んだことを活かしていきたいと思っております。本当にありがとうございました。

教諭 西木 洋人 新十津川町立新十津川中学校へ

この度、新十津川中学校への異動が命じられ、6年間お世話になった秩父別中学校を去ることとなりました。長くもあり短くもあったこの期間、保護者の皆様及び地域の皆様から温かいご支援を頂き、誠に感謝しております。

6年前の4月にオホーツクの地からこの秩父別町に来たとき、水を張った直後で鏡となった水田が360度広がり、そこに暑寒別岳をはじめとした山々が見事に映し出された光景を目にしました。その美しい田園風景に感動し、これからこの地で教育に携われることに喜びと興奮を感じたことが、今でもありありと思い出されます。

その後は微力ではございますが、秩父別中学校で力を発揮しようと努力してきたつもりです。ただ、やはり教師は生徒に教えること以上に、生徒から教わるが多いということに改めて感じる6年間でもありました。

この6年間では、担任を4年間もたせていただき卒業生を2期送り出したこと、野球部、バレー部、バスケットボール部の顧問を担当し、それぞれの部活動で素晴らしい結果を生徒たちが残し感動を共有できたこと、小学校でも英語の授業をさせて頂いたことなど、生徒たちと共に素晴らしい経験をさせて頂きました。そしてその度に、この町の子どもたちがもつ力の大きさを感じました。これも一重に地域、保護者、学校が三位一体となって秩父別町の教育活動に取り組んできている賜物なのだと思います。この町で働くことができ本当に幸せでした。

4月からは新転地でも、「私らしさ」を忘れずに全力で教育活動に邁進する所存です。繰り返しになりますが、6年間本当にお世話になりました。ありがとうございました。

生徒のみなさん、もしどこかで見かけたら笑顔で手を振ってくださいね。みなさんの元気な姿が何よりも私たち教師のエネルギーの源です。

教諭 星 雅之 深川市立一巳中学校へ

秩父別中学校は、私の初任校です。思い出深いこの学校に、退職後に再任用で勤務させていただく機会を得るとは夢にも思っていませんでした。そして、当時の生徒が今は生徒の親となり、色々な面でご支援をいただき感謝しているところです。

学校の規模は、はるかに小さくなりましたが、生徒一人一人が自分の役割や目標を達成しようとする意識の高さと実践力は他校に負けないパワーを感じます。運動や文化的な活動にその成果を確実に発揮しているのがその証です。そして、その子ども達が学校生活を有意義に過ごせる全ての源は、それを支えている保護者や地域力の賜物です。

保護者や地域の皆様、そして子ども達からの期待にどれほど応えられたのかは分かりませんが、これまで支えていただきました多くの皆様に心より感謝を申し上げます。

教諭 大作 勇治 深川市立深川中学校へ

初めて秩父別中学校を訪れた時、グラウンドに積もった雪の高さに驚いたのを今でも覚えています。あれから5年、あっという間の時間でした。その中で、たくさんの素敵な生徒達に出会うことができました。そして、保護者や地域の皆様にいつも支えて頂いたことに心から感謝申し上げます。私にとって秩父別中学校は、生徒達や保護者の皆様の笑顔が溢れるとても心温まる素敵な学校でした。新しい赴任先でも、頑張って参りたいと思います。

これからの秩父別中学校の益々のご発展をお祈りしております。本当にありがとうございました。

教諭 湯谷 郁子 上砂川町立上砂川中学校へ

秩父別中学校での勤務で、一番思い出深いのはある年の体育大会のこと。前日の会場設営のあとに雨が降ってきて、スローガンの四字熟語の文字が流れ落ちました。あの時の愕然とした思いを忘れることができません。と同時に、即、描き直し始めた当時の生徒会役員、技術室に駆けつけてくれた3年生を中心とした生徒さんたち、教職員の皆さんが、ありがたくて、頼もしかったです。今後の生徒数は最少となっても、あの時のように協力できたら、何事も乗り越えていけると、私は思っています。リーダーとなる生徒会役員の一層の活躍を期待しています。6年間お世話になりました。ありがとうございました。

教諭 豊田 佳澄 妹背牛町立妹背牛中学校へ

この度、2年間お世話になった秩父別中学校を去ることとなりました。短い間でしたが、保護者の皆様及び地域の皆様から様々なご支援をいただき、感謝しております。

私は東京出身で、関東地域の女子校の国語教員として教師生活を始めました。20代後半で北海道に渡り、30代後半から18年間は特別支援学級担任として教育活動を行い、生徒を取り巻く様々な環境をできるだけ改善していこうと考え努力してきました。

しかし、秩父別中学校では特別支援学級の生徒を仲間はずれにせず、様々な活動に参加できるように工夫してくれる生徒がたくさんいて、頼もしさを感じました。また、そういった生徒の皆さんの言動から、私自身多くのことを学ぶことができ、幸せを感じました。

新天地では、国語を教えることになりましたが、秩父別中学校で学んだことや経験してきたことを活かし、新たな目標に向かって前進していきたいと思っています。